

あなたの
ための
政治。

新年のご挨拶

新しい年、2021年がスタートしました。

残念ながら新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響を受けて大変厳しいなか、新しい年をお迎えになった方も少なくないのではないのでしょうか。

今年は、東日本大震災と原発事故からちょうど10年を迎えます。

この10年間、被災地の皆さんはもとより、全国各地の皆さんが復旧復興に向けて力を合わせて、心を合わせて進んでこられたと思います。

しかし、こうした「自助」や「共助」だけではこの災害からの復旧と復興は前に進みませんでした。政治がしっかりと役割を果たす。「公助」が力を発揮することによって私たちは困難を乗り越え、未来を切り拓いていくことができる。

私はそう考えています。

いま足元にある危機、新型感染症、この危機を乗り越えるためにも、今こそ、届いていない暮らしの声、現場の声、そうした声を受け止めながら、皆さんと私たちがしっかりとつながり、政治を動かしていく。草の根民主主義の重要性はますます高まっています。

「自助から支え合いへ」。政治を大きく変えていく、

今年はその大事な一年にしていかなければなりません。

衆院総選挙が年内に行われます。

その総選挙で、暮らしに寄り添った、支え合いの政治を前に進めていく。

立憲民主党は皆さんお一人おひとりとしっかりと結びつき、力を出し合うことによって時代を動かし、政治を変えていきたいと思っています。

ぜひ今年一年、あなたの暮らしの声を、現場の声を、私たちに届けてください。

そして、新しい時代を、支え合いの社会を切り拓いていくために、私たちと前へ進んでいきましょう。

今年も一年がんばります。

どうぞよろしく願いいたします。

立憲民主党代表 枝野幸男



新型コロナウイルス感染症対策に 全力で取り組みます。 感染防止を最優先に！ 生活・事業を守る！

日本各地でCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の感染者数が過去最多となり、各地で医療提供体制がひっ迫しています。

これは、立憲民主党が求めてきた ①医療機関支援と人材確保 ②エッセンシャルワーカーを中心とした積極検査 ③都道府県ごとの対策を強化するための特措法改正、地方創生臨時交付金の拡充、時短要請協力金の確保——などを政府が早期に実施せず、GoToキャンペーンなどを一時停止せずに推進してしまったからだと言わざるを得ません。

立憲民主党は一貫して、
国民の命と暮らしを守るための政策を提案、要望してきました。
立憲民主党の対策の柱は2つ。
「感染防止を最優先に!」「生活・事業を守る」です。

1. 感染防止を 最優先に!

- 希望するエッセンシャルワーカー（医療・介護・保育・幼児教育などの従事者）には無料でPCR検査を行うなど、積極的な検査を提案します。
- 医療機関支援のための「緊急包括支援交付金」は予備費や補正予算を使って増額。医療崩壊を防ぐため、全ての医療機関に対して減収分に経済的支援を行うこと、また慰労金の再支給や対象拡大などを提案しています。

2. 生活・事業を 守る!

- コロナ禍での雇用や暮らしを守るため、雇用調整助成金の特例措置の延長、休業支援金の拡充、失業手当の拡充、休業要請に応じた場合の経済支援、持続化給付金や家賃支援給付金の再給付に取り組みます。
- 生活困窮者や学生への支援強化に加え、感染症に関わるいじめや誹謗中傷を防ぐため政府広報官の配置などにも努めます。

立憲民主党の新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組みについては、こちらをご覧ください。

